**講演概要集原稿の書き方**

**帝都大学理工A, 日本科技大理工B**

**潟川　学A,　止田次郎B**

**How to Write an Abstract for the JPS Meeting**

**A*Dept. of Phys. Teito Univ.,* B*Dept. of Phys. Nihon Univ. of Tech.***

**M. GatagawaA and J. TomedaB**

この講演概要集原稿はワ－プロソフトWordを使い、ページレイアウトはA4縦で設定している。タイトルは16ポイントのゴシックを更に太く（ボールド）、所属・氏名は14ポイントのゴシック(ボールド）、英語表記の所属・氏名は14ポイントのTimes New Roman(ボールド）、所属はイタリックを用いている。本文は12ポイントの明朝体、本文中の英数字はTimes New Romanを使用している。一行の文字数と行数は、横36字(標準の字送り)×縦37行と設定している。最終判断は著者にあるので、多少の違いはあっても結構である。　ただし、

* 大会名・講演番号・ページ数を入れるため上下にある程度空白を入れる。
* タイトル、所属、氏名、英語表記は上記のような配置で記載
* 講演番号は記載しない。
* 枠はつけない。
* 原稿はフォントを埋め込んだPDFの提出。
* 1ファイルは2MB以下。

以上のことは、守って頂きたい。

実に興味深い講演概要を待っている。

図：日本物理学会のマーク。

カラー図面が掲載できるようになった。

**注1**：現時点では動画、URLへのハイパーリンクは不可である。

**注2**：概要集に掲載された原稿の著作権は日本物理学会に帰属する。

**注3**：概要集アクセス権を購入者は物理学会のホームページで大会終了後1年間閲覧可能。その後は、アクセス権を持つ、持たないに関わらずJ-Stageで閲覧可能。また記録用DVDの購入も可能。

**注4**：概要集原稿の提出には登録番号とパスワードを忘れず、原稿〆切に余裕をもってpdf原稿をWebから送信すること。